谷戸の風 ㊱

相撲談義

山内静夫

相撲人気は、一向に衰える気配を見せない。今年一月の初場所で七年ぶりに日本人力士琴奨菊が優勝したことで、一気に持ち直した感がある。

日本の国技という相撲で日本人が優勝したと大騒ぎになるというのも、何とも妙な、くすぐったいような気がするが、事実この間は、モンゴル出身の力士に相撲界は完全に占領されていたのだから仕方がない。所詮は勝負の世界だから勝たなければ話にならない。

今日は夏場所の七日目（五月十四日）だが、今場所気になることが一つある。立ち合いの手つきに審判部が目を光らせていること。両手がしっかり土俵に付かないと立ち上がってからでも待ったをかける。ルールだからと言えば文句も言えないが、力士は立ち合いの一瞬に勝負のすべてを賭けているのだから気が抜けてしまうのもよく解る。この所連日一番や二番は見かける。

世の中すべて、あまり規則が優先すると肩苦しくて面白みが失せる。時間前からきちんと両手を土俵につけて立つ力士も何人かはいて、見物する側は気持ちがいい。相撲というものは、勝負と同時に形式美を重んずる所に国技としての意味合いがあるのだから、力士がストップをかけられて訳がわからず立ちすくんでいる姿は美しくない。

美しくないと言えば、力士の頂点に立つ横綱のひとりが勝負がついた後のダメ押しを非難されている。人間の品性というものはひょんな時に顔を出すものだが、自分よりはるかに弱い相手にあの仕草は一瞬その時、横綱の人相が悪相に見える。

市内の近代建築物というと外から来た著名人による邸宅が注目されがちだが、鎌倉の地の人が建てたものを遺産としてもっと大事にすべきとした上で、二つの建物の工事関係者にも話が及び、少なくとも御成小学校旧講堂と旧校舎は棟札を見ると昭和戦前期の主だった鎌倉大工が総出で建築に当たったことが分かるという。「建物は50年、百年たってこそ建物になる。古いからといって安易に取り壊すのは犯罪に等しい」と締めくくった。

我々は、社会復帰を果たした方々の実体験などを含めた講演会や交流会で「被支援者から支援者へと循環（レカレント）しながら、回復（レジリエンス）する」ことで、「社会貢献できる人材を育成し、鎌倉から世界へと発信する」ことを目指し協同しています。今後「京都大学iPS（再生医療）研究所」の研究員を講師に市民向け講演会など立案します。問い合わせは「命・地球」hirokssr@jewel.ocn.ne.jp

木版画　藤本宿

寄稿

「旧鎌倉図書館、御成小旧講堂の保存を」

吉田鋼市さんが講演

図書館とともだち・鎌倉　和田　安弘

西洋建築史研究の第一人者で横浜国立大学名誉教授の吉田鋼市さんによる講演会が4月23日に行われた＝写真。主催は図書館とともだち・鎌倉と御成小「講堂」の保全活用をめざす会の2団体で、各々旧鎌倉図書館、御成小旧講堂の保全運動に取り組んできた団体。

講師の吉田鋼市さんは神奈川県内の建物の調査を手がけ、鎌倉市内の近代建築物の調査にも長年取り組んできた。講演では、昨年、市が保存を決定した旧鎌倉図書館と御成小旧講堂を中心に、調査に携わったときの写真を映しながら、それぞれの建物の特徴や歴史・文化的価値を話した。

「地域再生」テーマに学生と交流

NPO「命・地球」常任理事　中村知二

NPO『命・地球』は、「命と心」「地球環境と平和の大切さ」をテーマに癌や白血病などで健康を害し進学や就職などが困難な方々が社会復帰するのを支援し、病気と対決する姿勢と諦めない心をサポートする団体です。

4月30日に鎌倉市御成町の立正大学のカフェで「地域再生」をテーマに学生たちと交流しました＝写真。鎌倉のNPOの歴史や食の大切さ、ビジネスと英語の切れない関係、特別支援学校の話などを話し合い、学生たちから「いろいろな角度から地域再生の経験談を聞き、私たちも鎌倉の地域再生の活動をしているので、共感し勉強になった」との声ももらいました。

体育功労者、優秀選手を表彰

鎌倉市体育協会

鎌倉市体育協会（山口宇宙会長・31団体）は平成27年度に活躍した優秀選手18人、優秀団体3、各団体が推薦する功労者9人を5月16日鎌倉武道館で表彰した。カッコ内は推薦団体。敬称略。

【優秀選手】伊藤槙紀（卓球）坪井晴人・埴生厚秀・緒形有紀・佐々木雅広・田村章悟・田村亮輔・野井珠希（水泳）市川康裕（柔道）鈴木優美・冨澤采加・鈴木秋香（ソフトテニス）前田忠昭・安福哲男（テニス）宇野早苗（バドミントン）三輪藍子（スキー）鈴木典子（太極拳）藤原聖崔（ボウリング）

【優秀団体】鎌倉宮カントリーテニスクラブ・三菱電機テニス日本リーグチーム・鎌倉市役所サッカー部

【体育功労】本多啓一（水泳）京谷東（柔道）岡井政義（テニス）池田一紀（スキー）河合英利（サッカー）岡三智子（少林寺拳法）若林ヒロ子（ソフトボール）朝香良子（太極拳）大西伸明（ボウリング）

優秀選手・団体、功労者らを表彰

葉山町体育協会

葉山町体育協会（中川六郎会長・20団体）は平成27年度に活躍した選手の表彰式を4月10日町教育総合センターで行った。過去最大の41件を数え、優秀選手35人、優秀団体3、加盟団体への支援に対する感謝状3人、功労賞5人、特に顕著な功績者への栄光賞1人の計62人の選手と指導者が表彰された。カッコ内は推薦団体（敬称略）

【優秀選手】中田美緒・二見桜（バレーボール）平塚創大・安達勇人・田代一樹・アンナ ノヴィック（陸上）堀口裕・千葉海瑠・春山海月・新井天丸・水留捺月・矢徳隼也・石渡千夏（空手道）川岸七菜・魚住蘭・吉田華菜子（テニス）上田瑞・富松志帆・浅野蒼・磯前瀬夏・尾崎健人・青山知央・後藤凛子・金子道之介・国見有・磯村麟之介・春日啓志・上田直樹・伊藤聖夏・春日健志・林玄・久保田賢人・金子眞紀子・伊神麻衣・桑野絵里佳（セーリング）

【優秀団体】葉山町空手道協会A・葉山中学校聖心館葉山（空手道）・葉山中学校硬式テニス部女子（テニス）

【感謝状】鈴木弘長（バドミントン）杉浦晃（テニス）坂田隆一（クレー射撃）【功労賞】関沢和夫（バレーボール）市川茂夫・三堀幸雄（ソフトボール）門脇耐三（サッカー）安原實郎（セーリング）【栄光賞】安原實郎（セーリング）

文学つれづれ ⑭⓪

『舞姫』と『ファウスト』（10）

赤羽根龍夫

教会から出て来たグレートヒェンは送っていきましょうかというファウストの申し出を、自立した町の娘として「送っていただかなくても、帰れます」ときっぱりと断った。ファウストはそこにますます魅力を感じる。

しかし『舞姫』（森鴎外）のエリスは貧民街にある教会の前に立って泣いていた。教会から出て来たグレートヒェンはファウストへの愛ゆえに罪を犯しても、最後には神への絶対的帰依によって救われる。エリスには教会の門は閉ざされており、救いはない。

ファウストやグレートヒェンは自らの決断で行動する近代的自我をもった人間であるのに対し、豊太郎とエリスは頼り頼られるという日本的人間関係の中にしか住むことが出来ないのである。クロステル巷は鴎外の深層の意識の中では日本なのだ。

彼は料らぬ深き嘆きにあいて、前後を顧みるいとまもなく、ここに立ちて泣くにや。わが臆病なる心は憐憫の情に打ち勝たれて、余は覚えず側に倚り、「何故に泣きたもうか。ところに繋累なき外人は、かえりて（かえって）力を借し易きこともあらん」と言いかけたるが、われながらわが大胆なるにあきれたり。

教会の門前で泣く少女にいつもは内気な豊太郎は思い切って声をかける。エリスは豊太郎の善良そうな顔を見て、

「われを救いたまえ、君。わが恥なき人となんを。母はわが彼の言葉に従わねばと、われを打ちき。父は死にたり。明日は葬らではかなわぬに、家に一銭の蓄えだになし」と涙ながらに訴える。仮にエリスが豊太郎に少しでも拒否の姿を見せたなら、二人の関係は始まらなかったであろう。

鴎外の最初の妻＝「新潮日本文学アルバム」より

一方、一度はファウストの誘惑を拒否したもののファウストが忘れられず、グレートヒェンは自分の部屋で夢見がちにつぶやく。

―さっぱりとした小部屋グレートヒェン（髪を編み、それを結いながら）

きょうのあの方はどなたかしら。誰かそれを教えてくれるなら、わたし何かあげてもいい。

ほんとうに男らしい方。きっといいお生まれの方にちがいない。お顔立ちを見たら、すぐそれがわかった。そうでなければ、あんなに無遠慮にお話しかけなどなさらないわ。

こうして二人は悪魔・メフィストフェレスの手助けで初めてのデートをする。

グレートヒェン　わたし、びっくりしてしまいました。あんなこと、初めてなのですもの。これまでひとにとやかく言われたことは一度だってありませんでした。

だから、わたし、こう思いましたの。わたしのそぶりにふしだらなところがあって、それがお眼にとまったのかしら、これはすぐどうにでもなる娘だと、そんな気持ちをあの方に起こさせたのかしらって。白状してしまいますわ、あとで考えてみますと、わたし、あなたをいい方だと思う気持ちがさしはじめていましたのね。でもあのときのわたし、ほんとうに、自分で自分に怒っていましたの、なぜあなたにもっと怒ってさしあげなかったのかしらって。

ファウストは純真で可愛らしいグレートヒェンにますます魅かれていく。続けてアスターの花ビラによる有名な花占いの場面となる。グレートヒェンは最後の一枚が「愛している」だったので「あなた！わたし、心から愛してよ」とファウストに自分から接吻する。

おそらく現実のエリーゼも自らの意志で鴎外を愛したに違いない。だから鴎外を追って日本まで来たのだし、裏切られたと知ると自らの理性で悲しみや悔しさに耐え、おだやかにドイツに帰っていったのである。エリーゼはグレートヒェンでありえても『舞姫』のエリスではない。

（神奈川歯科大名誉教授）

終の棲み家を考える ㉖

坪いくらの落とし穴

家の建築費はいくらが妥当なのか考えてみましょう。

安くする為の方法は沢山あります。例えば、屋根の防水紙を薄いものにする。屋根の底を無くす。外壁を薄いサイディングにする。外壁のモルタルを1回塗りにし、塗料も安価な物で1回塗りにする。1枚ガラスのサッシで戸袋は付けず、小さな物で数を少なくする。基礎の外側にモルタルを塗らない。外部だけでもざっとこの位出来ます。

内部にいたっては和室を造らない。廻縁・巾木を付けない。床の仕上げは薄い単板の合板。壁・天井の仕上げは全てビニールクロス。断熱材は薄い形だけの物。照明器具のスイッチやコンセントは最低限の箇所。設備機器や照明は全て指定されている。

坪単価を安く見せる為にこんな風にして建築費を抑えているのです。内部・外部に依頼者が希望を言うと必ず追加・変更費用が掛かる仕組みになっているのです。家を安く手に入れたい気持ちは良く分かりますが、雨漏れや家の寿命を短くするような方法、また薄っぺらで直ぐ飽きてしまうような家では幸せな気持ちになれません。

昔から物の例えに『安かろう悪かろう』と言われており、家はその典型だと思います。家づくりに魔法など有りません、普通の値段でより良い家を手にしてください。

■日向建設　鎌倉市大船1―15―3　☎0467・47・5454　http://www.hyuuga.co.jp

訪問診療・往診

医）湘南友和会
さとうクリニック

認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携

〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220